

☆ 思考力・説明力を重視した「単元のめあて」を意識し、「授業のポイント」に留意することで、児童が主体的・対話的に学びを深めて、学力の向上が図られるようにしましょう。

(K・・・啓林館, G・・・学校図書, T・・・東京書籍)

学年	単元	単元のめあてと授業のポイント
1年	下巻⑬	・11月号参照
2年	下巻⑮ 分数 同様単元 K3月⑰ T2月⑱	<p>◎単元のめあて(板書例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ものを おなじ大きさに わけたときの、大きさの あらわしかたを かんがえて、せつめいしよう。</p> </div> <p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> テープや色紙などの具体物を 2等分・4等分する等の操作を通して、元の大きさの半分として元の $\frac{1}{2}$ の大きさ 半分の半分として元の $\frac{1}{4}$ の大きさ等の 分数の意味が実感できるようにする。 図に表して比べることで、元の大きさの $\frac{1}{2}$ を2倍すると元の大きさに戻る($\frac{1}{3}$ の3倍)等倍と分数の関係が理解できるようにする。 みかん 10個の $\frac{1}{2}$ は5個になり ミカン4個の $\frac{1}{2}$ は2個になる等、同じ分数でも元の大きさが変われば1つ分の大きさも変わることが、理解できるようにする。
3年	下巻⑬	・11月号参照
4年	下巻⑭	・11月号参照
5年	下巻⑮ 正多角形と円 同様単元 K1月⑱ T2月⑰	<p>◎単元のめあて(板書例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>円を使って 辺の長さが全て等しい多角形をかいて 特ちょうを見つけたり、円の周(まわり)と直径の関係を調べて きまりを見つけたりして、説明しよう。</p> </div> <p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 円を基に正多角形を描く活動を通して、正多角形の性質が理解できるようにする。(円の中心をn等分すれば、n個の二等辺三角形ができる。) 円周の長さや直径の長さを測定し、円周の直径に対する割合を帰納的に考えることにより、円周÷直径=円周率(3.14)が実感できるようにする。 「円周÷直径=円周率」より「円周=直径×円周率」を導いて、円周の長さを求めることができるようにする。
6年	⑬	・11月号参照

<お知らせとお願い>

「算数教育ネットワーク岡山」でHPを検索して、毎月の「算数授業のめあてとポイント」や

「算数教育 情報コーナー」等を ご覧いただき、日々の実践に役立てて下さい。

なお、これらについてのご意見ご質問および「算数教育ネットワーク岡山」の活動への参加希望は seiden_atmark_po.harenet.ne.jp まで Mail でお知らせ下さい。(atmark_を@に直して下さい。)